

鐵道線路に 横になる

自殺決意の少年

平町播磨小路踏切東方鐵道線路に二十四日午後十一時頃十二三歳位の子供が横になつてゐるのを平機關車機關助手牧野義則が発見したが少年は汽車に轢かれて死ぬのだと頑張つてきかず氏名を聞いた處平町一丁目某商店方小僧某(十二)と言ひ事情があるらしく平署で取調中である。

免囚餘論(七)

慶大 北郷生

兎も角、刑罰制度に缺陷があることは屢々指摘せられて來た。之は刑事政策學の取極範圍であるが、著名な例を挙げますと、裁判官は犯罪事實を認定し、法案に照して之に刑を言渡し、訴訟關係に於て判事は相對立する檢察と被告人(辯護人)との間に立つて批判します。適當とする刑を言渡すことは勿論ですけれども刑の確定後は犯人は行刑官の手に移つて終ふ組織になつて來ります。その後の言渡した刑が果して該犯人に適當であつたか否かを知る事ができません。假令知り得たとしても最早如何ともなし得ないのです。結果を見る事が出來ぬ不幸さは之を祖父が子孫の行末を案じ乍ら死すると同一であらねばなりません。そこで此點に關する救済として立法論が起りました。刑法の改正案も論議せられました。その例として少年法を挙げます。不定期刑の採用及び死刑、無期刑の撤廢であります(同法七條八條)一併死刑とが無期刑とかは原始的な應報的な刑罰方式であつて、刑罰を應報であると解する限りに於ては最も本質的なものであります。然し刑罰は例へば三だけの法益の侵害に對し三の刑を科することにより結局六丈の法益が社會から奪はれることを意味するのですから、之は余程深重に考へねばならぬ問題であつて、もし三だけの法益の侵害に對し適當な非應報的な、科學的な刑罰を以てすれば法益の損失をより少なくすることができるといふ事になります。そこで社會的に犯人を同化する必要を考へられ、少年の不良行為に對する法律的效果を應報の觀念から引き離すことによつて又當然に死刑、無期刑の廢止が是認されます。(牧野博士、少年法の成立志林二四の六)

修學旅行通信

(七) 響高女四年生

今朝は曇りを氣にながら、須賀に上つた。原宿の聲を聞きながら明治の聖皇の御影に神鎮まります。神宮に参拝して行つた時、神々しい感に歩み行つてしまひました。日本運動界の目標としてある神宮競技場の行はれる、廣い競技場を見た後、日本青年館内で晝食を大急ぎで済ました。これで私達団体行動の大部分は終つたと言つても差支へないと思ひます。この十日に近い長い旅行を雨にもあはず皆んな健康であつた事は平素の訓練によるものと思はれます。殊に附添の諸先生の骨折りに私達は、何んと言つてもよいかわかりません。この事は皆様がよく御承知の事と思ひます。終りに御卒業なされた皆様方がわざわざ私達の爲にいたしました事を深く感謝してこの稿を閉する事に致します。

共栄ト存共△
融金ノ易問△
蓄貯ノ味趣△
堅固ト意誠△

内 縣 △
リ7所扱取・所ル至 △
1サ下込申モモ時何 △
スマリ券ヲ會當スエ

廿五日より凱歌高唱

連戀の裏町 篇後
大帝キネ超特作品
明石線郎主演
義と侠で賣る一心太助
連続時代映畫

大江戸三人男

中根龍太郎、鈴木澄子主演
めしと女
マキノ御室特作
嵐長三郎主演

旅の者心中

土曜日曜學生デー
マキノ有聲座
奏樂 叙景舞踏曲
ヒュウテイ・セト
警城和洋音楽協會々員
指揮 Kアカシ氏

貸家

新川町一七
商店向月十七圓
新川町
中野勇吉

牛豚肉特價

牛中肉	百匁	金三十三錢
牛上肉	同	金五十五錢
豚中肉	同	金七十五錢
豚上肉	同	金九十五錢
口上肉	同	金六十五錢
口下肉	同	金四十五錢

平町停車場前(平劇場入口)
廉賣王 深谷牛肉店
電話五二四番

安齋外科醫院

入院隨意
診療時間(午前八時より午後九時まで)
▲診療時間(但し急患は此の限にあらざり)
平町田町大通り(電話四三三六番)

外科	一般
花柳病科	科
脱腸科	科
腸胆門病科	科

通學服特價賣出し

七八才用	一圓二十錢
十才用	一圓三十錢
十三才用	一圓三十五錢

女學用白洋傘
タツケ入 一圓三十五錢
ヘリ取 一圓四十五錢
レース付上 一圓九十錢

御ラカスマ
カマレ
スマ

店商ヤルツに
【番十四百話電】町平

外科 診療開始

花柳病科 専門

平町六丁目橋際
木村外科醫院

坂本龍馬

松竹現代派超特作 和製モダンニワカ
カフエーの女王 全七巻
柏美枝、星光、渡邊篤、若林廣雄
土曜日曜 特別興行 入場料 高級 常設 平 館
學生デー

農藝用消毒殺虫藥品

養蠶用寒暖計の御用は
平町五丁目角 山野邊藥局

奇妙なきくハリダスリ

不思議膏 (試用分)
れうまら骨の痛、肩のこり、齒痛、うちみ、神經痛、胃痛、痛氣、寸白、痔、すわりだこ、こまめ、ひょうそう、癩、いよて、う、やけど、靴ずれ、頭痛、乳のこり、のほせ、瘡毒、るいれき、耳の痛、其他何處へはりて痛みを和げ、回らす事不可思議

平町四丁目(電話百四十四番)
特約店 小野屋藥舖